

# KIKUCHI PROJECTION SCREEN

## リモコンコントロールユニット(KWL - 1) 取り扱い及び設置説明書

このたびはキクチリモコンコントロールユニットをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。  
お求めのリモコンコントロールユニットを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い及び設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

リモコンコントロールユニットを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

### 安全上 ご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



#### 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



#### 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

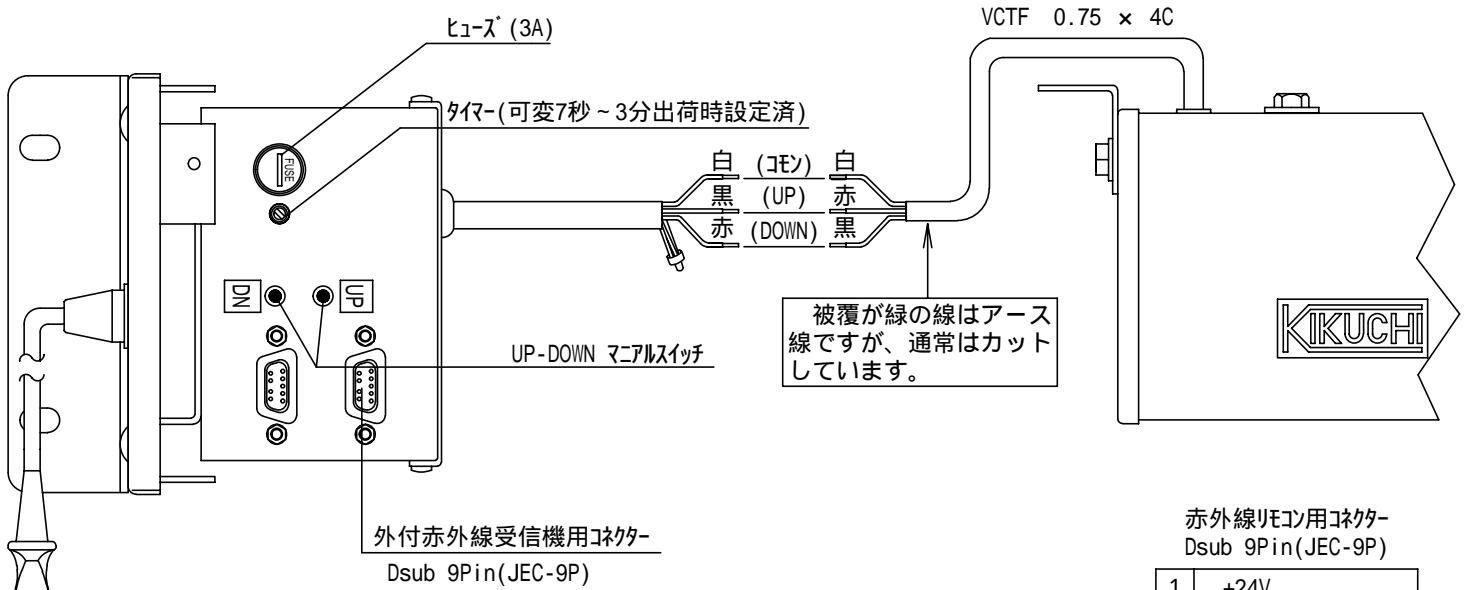
取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損害については、当社は一切責任を負いかねます。

お手持ちの電動スクリーン（左モーター仕様）を赤外線ワイヤレス仕様としてお使いになる場合は、下記の手順にて赤外線受信機ユニットを接続してからお使いください。

## コントロールユニット（下面から）

## スクリーン本体

\* 取り付け方法は、裏表紙に詳しく説明しておりますのでそちらをご覧ください。



スクリーン本体からのモーター線（3芯ケーブル - VCTF 0.75 x 3C）を、コントロールユニットから出ている各々の線に接続してください。その時のケーブルの色は次のようになります。

白色 - コモン  
 黒色 - DOWN  
 赤色 - UP



白線はコモンです。赤または黒線を を逆に結線しますと、UP・DOWNが逆になります。絶縁圧着端子等で、確実に結線してください。



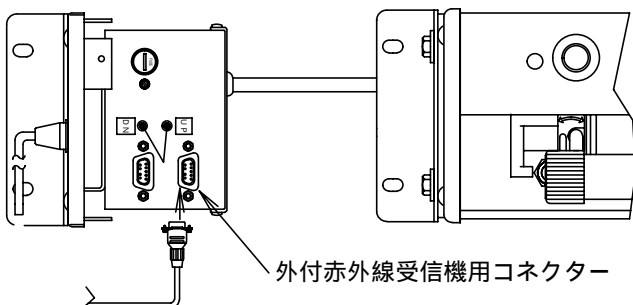
圧着が不十分ですと、動作しない事がありますのでご注意ください。

赤外線リモコン用コネクタ  
 Dsub 9Pin(JEC-9P)

1	+24V
2	+5V
3	UP
4	STOP
5	DOWN
6	LED
7	GND
8	-
9	-

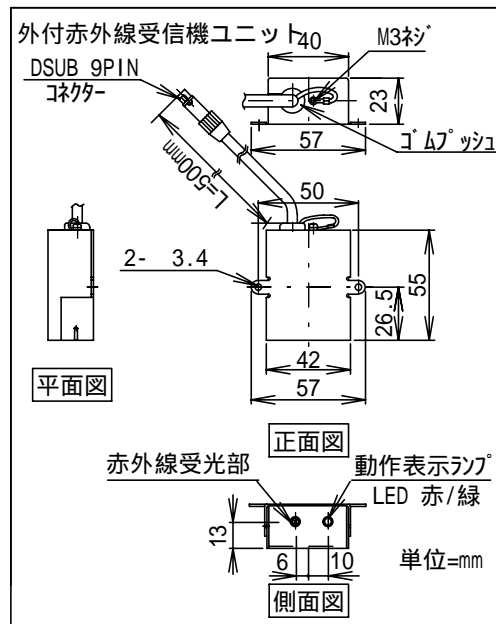
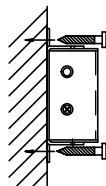
## コントロールユニット取付手順（赤外線ワイヤレス仕様）

赤外線ワイヤレス仕様としてお使いになる場合は、下記の手順にて外付赤外線受信機ユニットを取り付けしてからお使いください。



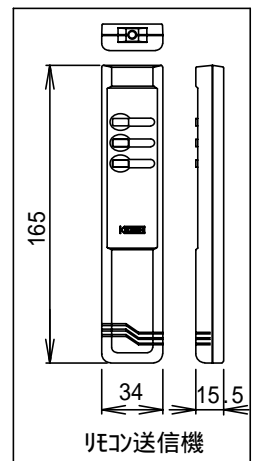
スクリーン本体の左底面部にある、接続端子に付属の外付赤外線受信機ユニットのコネクタを接続します。コネクタが抜けないようにネジでしっかり固定してください。

受信機本体を取付ます。受信機本体に付いている2箇所の穴を使い、付属の木ネジ（3mm）で見通しのきく位置に固定してください。

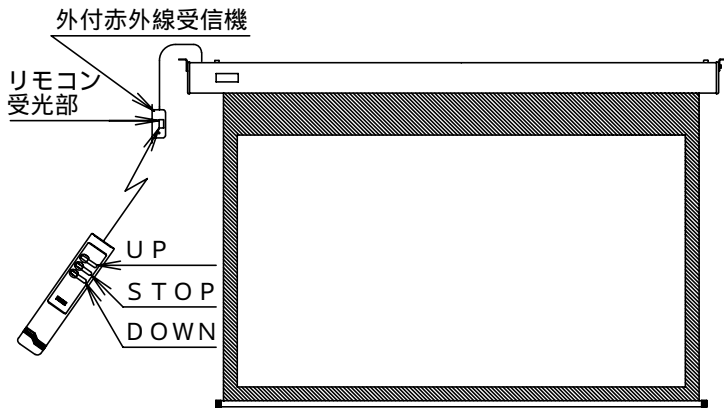


付属品

- リモコン送信機 × 1個（単四乾電池 × 2個付）
- 外付赤外線受信機ユニット × 1個
- 取り付け用ビスセット × 1式
- 取り扱い説明書 × 1冊



## リモコンの操作方法について



### スクリーン動作表示ランプ

スクリーン上下動作中・・・緑

スクリーン動作停止中・・・赤

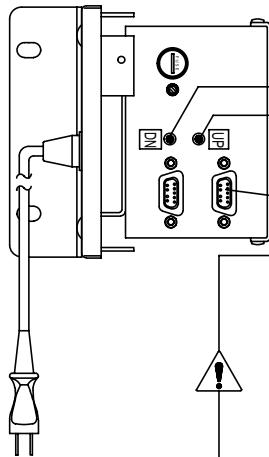
で表示します。

動作表示ランプが消えている時は、送信機は使用できません。電源コードがぬけていないか確認をしてください。

### スクリーンを使うとき

送信機をリモコン受光部に向けて操作します。

1. 電源コードをコンセントに差し込んでください。
2. DOWNボタンを押して下さい。設定された位置まで自動的に下り停止します。
3. 使い終わりましたら、UPボタンを押して下さい。スクリーンケース内に収納され自動的に停止します。
4. スクリーンを任意の位置で停止させる時、もしくは緊急に止めたい時は、停止ボタンを押して下さい。



下：スクリーンを降下させる時  
上：スクリーンを上昇させる時

赤外線リモコン用コネクタ  
Dsub 9Pin(JEC-9P)

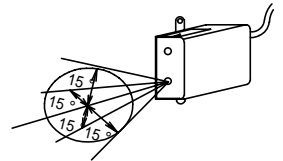
リモコンが使えない時（紛失又は電池切れ等）は、「UP」「DN」と書かれたボタンを、細い棒（ようじ・ペン先等）で押して操作してください。

約4分以上連続昇降動作をしますと、モーター内のサーマルスイッチが働き停止します。この場合冷却の為にしばらく（15～20分）放置してから再操作してください。（故障ではありません。）

スクリーンの停止位置を変える場合には代理店、又は施行業者にご相談ください。スクリーン表面の保護の為、ご使用後は必ずスクリーンをケース内に巻き戻すようにして下さい。（その際、虫等が付着していない事を必ず確認してください。）

## リモコンの操作方法について

リモコンの操作範囲は、リモコン受光部中心の垂直軸に対して左右各15°上下各15°以内となっています。必ずその範囲内にてご使用になる様、お客様にもお知らせください。これ以外の角度では、動作しない恐れがありますのであらかじめ、御了承ください。操作距離は最大で5mです。



AV機器用の電源分配器（パワーディストリビューター）での電源供給は、他の機器からの電源ノイズが回り込み、受信機の誤作動を発生させる場合がありますので、ご使用にならないでください。壁面等のコンセントから単独で電源供給することを、おすすめします。

スクリーンを取付する場合、インバーター蛍光灯及びインバーター蛍光灯用本体機器のそばには、設置しないでください。インバーターから発生するノイズによって、動作不能になる恐れがあります。症状としては下記の様になります。

コンセントより電源（AC100V）を供給

受光部動作表示ランプ「赤」点灯  
停止中（スタンバイ）を表す。

送信機による操作。下（下降）ボタンを押す。ランプは動作中を表す「緑」点灯。

リミッター設定位置にて自動停止。本来なら動作ボタンを押してから、一定間（約40秒）でタイマーにより電源がOFFになり「赤」点灯になるが、この場合「緑」が点灯したまま電源もOFFにならない。

スクリーンを上昇させようとして上ボタンを押しても、一切動作しない。

### 上記の対応として

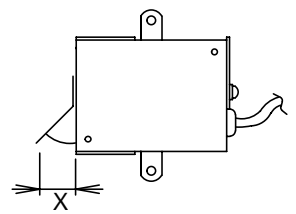
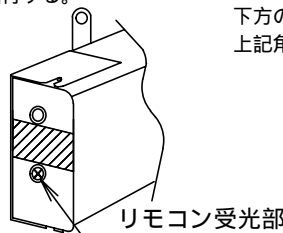
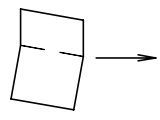
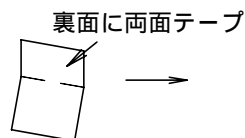
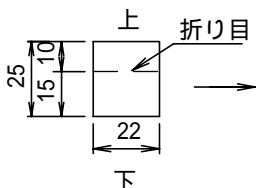
- A) スクリーンに近接するインバーター蛍光灯の使用中止。
- B) 出来るだけ蛍光灯をスクリーンから離す。（最低でも1m以上。1m以内では、誤動作が発生する恐れがあります。）  
どうしてもA)が不可能で、且つB)の距離も十分に取れない場合、回避方法として

段ボール又は、事務用ボール紙を下図の寸法にカットする。

上部裏面に両面テープ等を貼付する。折り目に沿ってある程度折り曲げておく。

スクリーン本体の、リモコン受光部の上部に貼付する。

しゃへい取付角度を調整する。角度を40°～55°に合わせて下さい。下方の距離を10～13mmに設定すると上記角度に概当します。



貼付の際、リモコン受光部をおおわないで下さい。送信機からの信号を受光出来なくなります。

以上の方法で実施してください。

この方法で防止出来ない場合は、他機種への変更（100V有線型）をおすすめします。

$\theta = 40^\circ \sim 55^\circ$   
 $X = 10 \sim 13 \text{ mm}$

# リモコンコントロールユニット取付方法



## 警告

リモコンコントロールユニットを設置する壁や天井が、石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、下地補強が必要です。  
強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。



## 注意

天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工

壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。

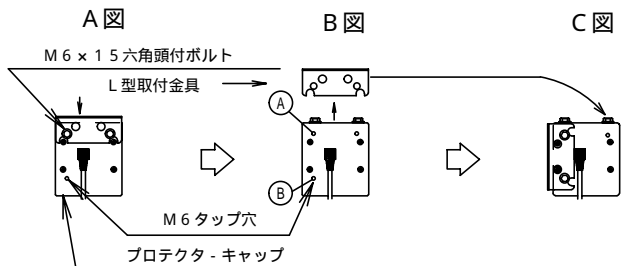


禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・下地補強無しでの施工

### L型取付金具 取付向き変更手順

**取付手順** 出荷時取付金具は、天井取付用になっています。壁に取付する場合は、下図要領に従って金具位置を変更して下さい。



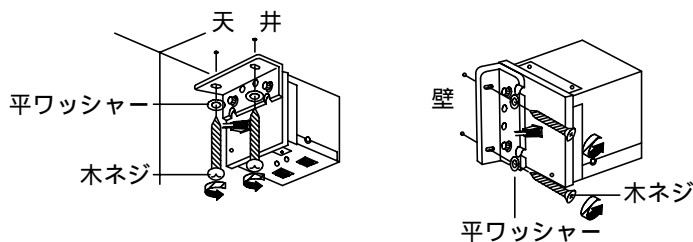
1. ボックスレンチなどでM6×15ボルトをゆるめてL型取付金具をはずして下さい。(B図参照)
2. L型取付金具を90°度回転させ、先にはずしたM6×15ボルト/平ワッシャーをM6タップ穴の(A)(B)に差し込み締める。(C図参照)

### 合板の天井または壁に設置する場合



#### 注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。



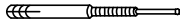
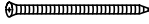



### 付属品

下記の設置用部品が付属しています。



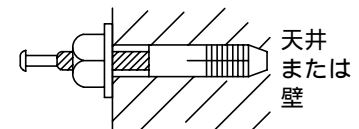
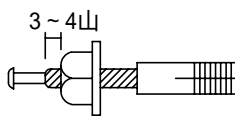
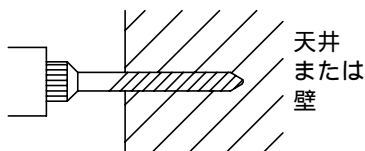
#### 警告

下記設置部品以外での取付は、おやめ下さい。  
取付等の不備による、脱落の恐れがあります。

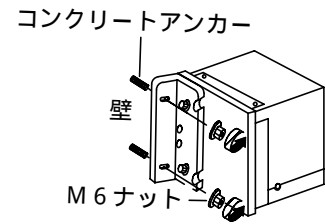
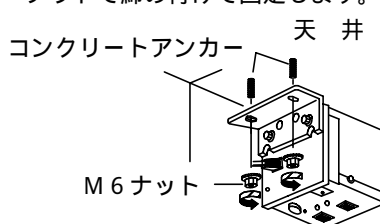
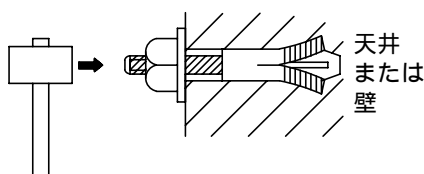
 M6コンクリートアンカー(4本)	
 木ネジ(4本)	 M6六角ボルト(4本)
 平ワッシャー(4個)	 M6ナット(4個)

### コンクリートの天井または壁に設置する場合

1. 壁または天井に径6.4mmのドリルで深さ55~60mmの穴をあけます。
2. コンクリートアンカーのネジ部にM6ナットをつけます。この時、ネジ山が3~4山(3~4mm)M6ナットの頭から出る様にします。
3. コンクリートアンカーを穴に差し込みます。



4. ピンの頭がネジ部分にあたるまで、ピンを打ち込みます。打ち終わったらM6ナットを取りはずします。
5. スクリーンの取付金具の穴を、コンクリートアンカーのネジ部分にはめこみ、M6ナットで締め付けて固定します。



仕様及び、外観は予告なく変更することがあります。ご了承下さい。

# KIKUCHI

KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

KIKUCHI SCIENCE.LAB 2004.5 KWL-1 RW

株式会社 キクチ科学研究所

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL.(03)3952-5131(代) FAX.(03)3953-0051